

平成 23 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

公法（憲法・行政法）問題紙

A日程

平成 22 年 10 月 24 日

13 : 30～15 : 30（120 分）

（180 点）

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 公法の問題紙は 1 ページから 2 ページである。

科 目 名	ペ ー ジ
憲 法	1
行 政 法	2

3. 解答用紙は、3 枚である。解答用紙の追加は認めない。

科 目 名	枚 数	配 点
憲 法	2 枚	100 点
行 政 法	1 枚	80 点
合 計	3 枚	180 点

4. 解答用紙は 3 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

憲 法

(配点 100 点)

問題 1 (40 点)

憲法 4 1 条は、「国会は、国権の最高機関である」と定めている。この規定の意義について論じなさい。

問題 2 (60 点)

取材の自由、及び、取材源の秘匿について論じなさい。

行政法

(配点 80 点)

問題

行政指導の意義（概念、種別）について述べたうえ、行政指導の法的統制について論ぜよ。